令和 8 年度 第 2 回陸前高田市立小中学校の在り方検討委員会

会議概要

1　日時

令和 8 年 7 月 13 日（月）午前 9 時～午前 11 時

2　場所

竹駒小学校

3　出席者

委員

別紙（名簿）のとおり

事務局

教育長、教育次長、学校教育課長、学校教育課職員

4　内容

（1）開会

（2）教育長あいさつ

西側 4 校（竹駒小、横田小、矢作小、気仙小）の複式学級展開状況や 4 校合同行事の実施状況に触れつつ、実際に教育現場を視察し現状を把握することの意義について説明が行われた。

（3）竹駒小学校長あいさつ

竹駒小学校の学級編成や、集団登校・縦割り清掃といった安心できる生活環境について説明が行われた。

（4）複式学級の視察

委員による複式学級の授業視察が行われた。

（5）学校からの説明

竹駒小学校長より、資料に基づいた学校の現状および教育活動に関する説明が行われた。

（6）議事

以下の事項について資料に基づき説明および協議が行われた。

① 複式学級に関する意見交換

② アンケート調査概要（案）について

③ その他

（7）その他

今後のスケジュールについて、事務局より第 1 回検討委員会で示したとおり進める旨の説明が行われた。

（8）閉会

5　主な質疑・意見

○ 複式学級および学校生活・交流活動について

・石川委員　複式学級において、様々な教科で授業を展開する際の対応や、4 校交流の実施回数・内容、部活動やスポーツ少年団の合同化、児童の移動手段について質問があった。

・竹駒小学校長　授業は原則複式で行うが理科実験等は危険性を考慮し担任と副校長で分担していること、4 校交流は年 4 回（宿泊体験、修学旅行、英語等）実施しオンライン発表等も行っていること、部活動・スポ少は他町の団体と合同で実施しており保護者送迎が基本である旨を説明した。

・伊藤（大）委員　横田小での経験も交え、複式・単式にかかわらず意欲的な児童は意欲的に学習していること、少人数ならではの責任感の醸成や行事運営の負担感についての発言があった。

・菊池委員長　様々な教科による複式授業の事例について言及があり、校長より教科の特性によっては効果的である旨が補足された。

・山田委員　教員の授業準備の負担や児童の学習サポート姿勢への評価、特別支援や学習支援員の配置状況について質問があった。

・竹駒小学校長　特別支援学級を中心に支援員を配置していることや、加配教員（英語加配等）の活用状況について説明が行われた。

・伊藤（孝）委員　授業以外の場面での複式編成について質問があり、校長より基本は複式学級であるが教科や内容に応じて柔軟に編成している旨が説明された。

・菅野（美）委員　児童一人ひとりの活躍の場が多く確保されており、中学校進学後もリーダーシップを発揮する生徒が多い旨の感想・意見があった。

○ アンケート調査概要（案）について

・菅野（美）委員　今年度の検討委員会のゴールについて質問があった。

・事務局　今年度はアンケート調査を実施してその結果を委員に共有し、1 年間かけて慎重に検討した上で答申をいただく想定である旨を説明した。

・吉田委員　アンケート結果の地域への公表時期について質問があった。

・事務局　今年度中に開催を予定している地域への説明会の中で、アンケート結果をお知らせする旨を説明した。

・山田委員　各世帯へアンケートを配布する際、児童生徒数の推移などの参考資料を同封するか質問があり、事務局より添付予定である旨が回答された。

・松村委員　アンケートの提出ついて、意見がある場合のみ提出で良いか確認があり、事務局より意見がない場合も提出を求める形としたい旨が示された。